

令和6年9月
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和6年9月26日(木) 午後2時00分
閉 会 : 令和6年9月26日(木) 午後2時56分
会 議 場 : 歴史文化伝承館2階会議室

出席委員 : 1番委員 大島 隆芳
2番委員 浅海 純一
3番委員 萩原 重範
4番委員 土橋 慶子

出席者 : 教育長 前野 浩二
事務局長 笠原 義浩
事務局次長兼学校指導監 飯野 芳伸
事務局次長兼保健給食課長 杉田 直之
教育総務課長 杉田 泰三
学校教育課長 磯田 欣央
文化財保護課長 伊藤 暁
教育研究所長 佐々島忠重

書 記 : 教育総務課主幹 中里 芳隆

1 開会宣言

教 育 長 : 令和6年9月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、1番委員及び4番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和6年8月27日に開会された8月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : はじめに、先週末の能登半島豪雨により、被災された方々に、正月に発生した地震被害の復興中での災害でもあり、心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。また、学校も通学路の関係で臨時休校をせざるを得ない状況のようで、対応が大変であることを改めて感じている。
最近の学校の様子について報告する。

市内小・中学校は、第2学期が始まり、9月14日には、中学校3校の体育祭や運動会が行われ、各種学校訪問も始まり、学校を訪問する機会が増え、児童・生徒・教職員それぞれが、元気な姿で学校生活を送っている様子を見ることができ、大変うれしく思っている。また、授業参観では、学習規律が定着し、教師や友達の話や発表などの聞く姿勢も大変よく、落ち着いて授業に臨んでいる様子が伺えた。2学期は、実り・収穫の2学期、成長の2学期などと言われるが、日常の教育活動及び学校行事等への取り組みなどによって、児童・生徒の成長を期待したい。委員の皆様には、各学校のホームページを閲覧していただき、お気づきの点があれば事務局までご連絡いただきたい。

また、中学校の新人戦も始まり、19日には秩父宮杯体育大会の陸上競技秩父地区予選会が開催され、明日・明後日は、球技と武道の秩父地区予選会が行われる。1・2年生にとっては、初の公式戦となるが、各

学校・各生徒の目標達成に向かって熱戦が繰り広げられ、県大会出場を目指して頑張ってもらいたい。

今年度も半年を過ぎ、今後は、令和7年度当初における教職員の人事異動に関する事務、学校教育のさらなる充実、事務局内各課・所の各事業の推進等図って参りたい。

1 番 委 員 : 能登半島の水害に関し、お悔やみ申し上げます。避難所まで浸水している状況を見たが、一日も早い復興を願う。

前回の総合教育会議に出席し、読書離れについてのニュースを聞いた。9月17日に文化庁が公表した「国語に関する世論調査」で、月に1冊も読まない人が、調査対象の6割という結果に驚いた。これは5年ごとに調査しているようだが、本を読まない理由として、10代・20代は、スマホやタブレットなどに時間を取られる。30代・40代は、仕事・勉強で読む時間がない。50代以上になると視力低下などで本を読まない、という結果が出ているそうである。若い世代の本を読まない理由で面白かったのは、書き手が知らない人で、誰だかわからない人の本は読まない。本を読むのが、苦痛というのがあった。それは、小・中学校、高校で「本を読みなさい」と言われることが嫌で、その影響で本を読むのが苦痛という若い人がいるそうである。

一方で、小・中学生は本をよく読んでいるようで、青少年読書感想文全国コンクールは265万人の応募があったということである。おそらく学校での取り組みとか、家庭での読み聞かせがあると思うが、何らかの方法で、本を読む機会を増やしていく方が良いと思う。読書は、知識の獲得もあるが、人間形成に非常に大きな影響を及ぼすと思う。

Instagram経営のmeta社は、1日1時間以上になると、アプリの利用中止を促すメッセージを流すそうである。これと同様にするわけではないが、少し読書に時間を割けるような方策ができればいいと思う。5年後の調査では、月に1冊も読まない人の割合が下がっていると良いと思う。私も、もうちょっと本を読みたいと思う。

2 番 委 員 : 1点、報告する。

9月14日(土)に秩父第一中学校の体育祭を拝見した。当日はまだまだ残暑が厳しく、管理職の先生方は、暑さ指数計をテントの中に吊るし、開始以降、それをこまめにチェックしながら、注意深く見守っていた。コロナ以降、体育祭を午前中のみを実施することは、定着しているようで、今年度も11時過ぎには閉会式の予定で進行されていた。昨年度と比べて、マスクを着用している生徒がほとんどいなくなって、コロナの影響が、だいぶ薄れてきたということも実感した。

熱中症対策も、気を使っているようで、競技後の水分補給を奨励する放送部の放送が流れたり、競技の間には生徒全員が10分間の休憩時間を設けたりしていた。3年生は自分の競技がないときにも、次の競技

の準備や進行にも中心的に関わっていたので、水分補給をする時間が限られてしまっていた。それを見ていた救護の先生は、忙しく準備に没頭する3年生の女子生徒が水分補給をできなかった状況を見て、すぐにお茶を持って行ったり、先生方が、一人一人に注目している姿が非常に好感を持たれた。先生方が生徒に向き合って、寄り添えるような余裕のある時間を活用できるように、今後も、働き方改革も含め、学校の学習環境の改善に努めていただきたい。

3 番 委 員 : 1点、申し上げる。

教育関係者が願っているのは、学校の先生方と児童・生徒が安心して、元気に教育活動が行われていることだと思う。保護者や地域の皆さんも同様だと思う。学校から児童・生徒が元気で活躍するニュースが発信されれば、保護者や地域の皆さんにとっても、大変嬉しいことだと思う。子どもたちが元気で頑張っている情報は、地域の人たちに働く意欲を喚起してくれると思う。子どもたちはそういう意味では大人と比べれば小さな存在だが、周りを照らして、とても良い役割を果たしていると思う。子どもが減るのは寂しいが、今いる子どもたちを一生懸命、大事に育ててあげたいと思う。

教育長からも、8月の定例会でお話があった夏休み中の部活動をはじめとする大会の結果、あるいは地域の文化活動に参加する子どもたちの様子であるとか、市の青少年育成協議会主催の子どもの球技大会が各町会育成会の皆さんの協力で賑やかに開催できたこと等、学校現場で暗いニュースが多い中で子どもたちの元気に活躍するニュースは貴重であるし、また学校教育の信頼を取り戻すためにも必要だと思う。積極的に市報等でも取り上げられているが、いろいろな場面で、そのような話をしていただいたり、学校からの広報で自校だけの成果だけではなく、隣の小学校や地元の中学校の生徒たちも、頑張っていることを発信してあげられると良いのではないかと思う。

この夏はパリオリンピックも開催され、スポーツは大変インパクトや影響力があることを改めて感じたが、スポーツは努力のプロセス、その結果・成果が明快でわかりやすい。その一方で成果が出るまで時間軸が長く、成果・結果が見えにくいのが、学力だと思う。

この会議の前に、教育長にお話を伺ったが、今年の文部科学省の全国学力・学習状況調査で、秩父市の小・中学生の結果は、全国平均や県の平均と比較すると、決して良いものでは無かった。多少、県や全国よりも上回る部分もあるが、相対的に見て教科等によっては、かなり県や全国のレベルに差をつけられているところもあり、憂慮している。

持論として、私は「学力は財産だ」とずっと言い続けている。お金や物といった財産は、使えば使うだけ減っていくが、学力という財産は、使えば使うほど増えていく。特に若い人たちにとっては、学力はこれか

ら生きていく上で、必要なものだと思う。学校教育の目的目標は、教育基本法にあるように、国家社会の形成者、そして優位な人材の育成ということ、もちろんあるが、子どもたちが様々な社会の変化に対応して、自立して、しっかり生きていくためには、確かな学力が必要だと思う。子どもたちの学力保障の責任を負うのが、学校であり、教師一人一人だと思うので、教師は普段の研修、教科指導力や授業力の向上のために最大の努力を傾けて欲しいと常々思っている。一部には学力テストや学力重視の話題をだすと、序列化や競争を煽り、他にももっと大切なことがあるのではないかと、いろんな意見が出るが、広く現実社会を見れば、今、学校教育が何を優先すべきかは、私は自明のことだと思っている。もちろん、心を育み、また、心身を鍛えることは、少しも疎かにできないことは当然のことである。どちらかというと学力は、形として見えない部分が多く、なかなか表に出にくいところもあるので、今回、全国の学力・学習状況調査が実施されて、検証されることは、良いことだと思う。これを前向きに受け止めて、本市の学校で足りない部分が何なのか、を考えるきっかけにさせていただければ良いと思う。教育委員会でも、秩父の子どもたちが明るい未来を描けるように学力向上に向けて、更なる体制づくりや管理職をはじめ先生方へのご指導をお願いしたい。一生懸命、1学期2学期で耕して、育てて、3学期、素晴らしい収穫が得られるように、これから頑張っていたきたいと思う。

4 番 委 員 : 朝晩、だいぶ涼しくなり、日中はまだ暑い日もある中、小学生は運動会に向けて練習を頑張っているようである。中学校3校も昨年までより、1週間遅い運動会であったが、まだ暑い中、少ない練習で暑さに気をつけながら楽しく元気に参加できたとの保護者の声を聞いた。

小学校では、社会科見学が各学年で行われて、出発まで、とても楽しみにして、行ってきてから、違う学校の子や学年の違う友達に覚えてきたことを報告したり、情報交換を楽しんでいた。

ニュースで、葛飾区が来年4月より修学旅行の無償化をするとあった。中学校の修学旅行も、今、物価も上がる中、現地に行ってから移動などに使う費用は、結構な額になるので、無償化でなくても、少しでも補助があると良いという保護者の声があった。小鹿野町は、給食費を無償化している。どちらかというと給食費が無償化、もしくは、もう少し補助があると良いという声が多く聞かれる。

(2)事務局からの報告事項

事 務 局 長 : 秩父市議会9月定例会の結果について報告する。

秩父市議会9月定例会は、前回8月の教育委員会定例会での報告のとおり、8月28日(水)から9月18日(水)までの22日間で予定どおり開催された。付議された議案22件は、今後「決算審査特別委員会」で審議される令和5年度決算の認定を除き、すべて可決された。

一般質問では、5人の議員から教育委員会に対して①学童保育室の現状と今後について②こども性暴力防止法について③文化財の保存・活用に関する取組について④長期休業期間中の学童保育事業及びふれあい学校事業について⑤小中学校の水泳学習について⑥全国学力学習状況調査について質問があった。これら一般質問の答弁内容については、お手元に答弁書を配布したので、後ほどご覧いただきたい。また、市のホームページから秩父市議会のページに入ると、インターネット録画中継でも確認できるので、ご活用いただきたい。

学校指導監： 1点、埼玉県教育委員会、日吉教育長の学校訪問について報告する。
9月19日(木)の午前10時から約90分間、埼玉県教育委員会日吉教育長と県教育委員2名、県教育局職員5名、計8名が荒川中学校を訪問した。秩父市教育委員会からは、前野教育長、佐々島研究所長、飯野の3名が同行した。

はじめに、校内視察をしながら、1年生の道徳、2年生の理科、3年生の社会の授業を参観いただいた。その後、管理職、主幹教諭から荒川中学校の学校概要説明があり、意見交換を行った。県の教育委員からは、「コロナが終息し、理科の実験では、生徒が身を寄せながら学び合うことができているよかった。」「ICT機器をさらに有効に活用できるとよい。」といった感想や意見があった。また、日吉教育長からは、「校長の示すランドデザインに基づき、様々な取り組みを行っており、今後が楽しみな学校である。」「本日の授業の中で、生徒たちは、自分の言葉で考えを伝え合うことができている。学習規律も定着しており、特に話を聞く姿勢、態度がよい。」等のご指導をいただいた。

短時間であったが、大変充実した訪問となった。なお、荒川中学校は、県の道徳教育研究推進モデル校として研究を積み重ね、この日もその成果を遺憾なく発揮し、訪問者から称賛を受けた。今年度で研究2年目を迎え、11月20日に研究発表会が開催されるので、ご承知おきいただきたい。

保健給食課長： 2点、報告する。

1点目、就学児健康診断についてである。

毎年10月に新年度小学校入学予定者を対象に健康診断を行っている。今年度は、10月1日に南小学校、尾田蒔小学校で始まり、30日の西小学校、影森小学校での実施まで、市内小学校全13校を会場として行う。来年度入学予定者数は、366人である。今現在、小学校1年生在籍者が378名であるので、若干、人数が減る予定であるが、保護者付き添いの上、入学予定の学校で健診を受けていただく。

2点目、新型コロナウイルス感染症の8月の状況についてである。

小学生が7人で、7月と比べて16人減、中学生が11人で、7月比べて29名減で、合計18人である。7月と比べて45人減である。8

月は夏休み期間中であつたが、7月に比べだいぶ減少している。

教育総務課長 : 教育委員の皆様に関係する10月の行事について、改めてお知らせする。まず、10月10日(木)、秩父地区教育委員会連合会管内視察研修会が皆野町で開催される。新井武平商店(やまぶ工場)の見学と、皆野町教育委員会学芸員の案内による旧壺春堂醫院(こしゅんどういいん)の見学や、近代俳句の概要説明を実施していただく予定である。なお、会場集合が午後1時30分となっているので、参加される方は午後1時に集合いただき、公用車に乗り合わせで出発したいと考えている。

続いて、10月25日(金)、秩父郡市人権教育・啓発推進連絡会議の主催による「第22回秩父郡市人権フェスティバル」が小鹿野文化センターで開催される。当日は、オープニングで、おがのこども園の年長児による、秩父屋台囃子が披露された後、人権作文優秀作品の発表が予定されている。また、シンガーソングライターの玉城ちはるさんをお招きし、講演会も行われる予定である。参加の場合は、事務局の秩父市総務部総務課にお申し込みいただきたい。

最後に、今年度第2回目の総合教育会議についてである。12月19日(木)午後3時から、市役所本庁舎3階会議室での開催を予定しているので、ご承知おきいただきたい。

学校教育課長 : 2点、報告する。

1点目、ICT教育をサポートする情報通信技術支援員(ICT支援員)についてである。4月11日(木)より、各学校へICT支援員2名の派遣を行い、希望があつた学校には夏休み期間中の派遣も行った。このICT支援員は、授業提案や操作方法の伝達・相談、困っている先生への積極的な声かけなど、ICT教育を先生方が円滑に行えることを前提に派遣している。今年で3年目を迎え、現在、すべての教員が授業での活用は問題ないレベルまで定着していると捉えている。2024年度のICT活用目標は「児童生徒が主体的に学習用端末を活用する授業を、50%以上の教員が計画的に行うことができる」を達成できるよう、ICT支援員と連携し、支援を行っていく。学校指導監より話のあつたオンライン授業やオンライン面談についても支障がないように支援を行う。

2点目、教職員用のパソコンの入替えについてである。今年度は、教職員用等の校務用パソコンと業務用パソコンなどのリース替えの年であり、昨年度、先行して103台の入替えを実施しているが、今年度は残りの約510台の入替え作業を実施する。来年1月には新パソコンを使用できるよう、今後、順次入替え作業を行う。また、令和8年3月には、児童・生徒1人1台端末、約4,500台のリース替えが行われる。現在、端末更新に係る県の会議等に参加し、スムーズな移行ができるよう、調整を行っている。

文化財保護課長 : 1点、市指定無形民俗文化財「三峰の獅子舞」について報告する。

8月25日(日)、三峯神社で「三峰の獅子舞」が行われた。この獅子舞は奥多摩の日原地域からの伝承とされ、8月に行われる三峯神社の末社諏訪神社の祭典で奉納されている。江戸時代末期から始まったとされるこの獅子舞も、近年は三峰地域の著しい人口減少や少子高齢化の影響で従事者・後継者の確保が難しく、演目数を減らすなどして何とか継続されてきた状況であった。市では、この活動に対し、定額ではあるが補助金を支出し、支援してきた。しかし、それでも年々加速する人口減少や地域の過疎化に加えて、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行事の休止等の影響もあり、さらに困難な状況に陥ったため、残念ながら本年で獅子舞の継承・公開を休止することとなった。当日は午前4時から、三峯神社拝殿前での獅子舞奉納に始まり、末社諏訪神社の前など三峯神社境内の各所で舞が奉納された。また、「最後の獅子舞」と言われたこともあり、早朝から多くの観客・カメラマンが訪れていた。なお、文化財保護課では平成22年度に一般財団法人の助成を受けて「三峰の獅子舞」の映像記録を作成し、この獅子舞を「記録」という形で保存措置を行っていることを申し添える。

教育研究所長 : 2点、報告する。

1点目、令和6年4月に実施した小学6年生および中学2年生対象の令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の概要についてである。

調査結果の概要として、小学校での「無回答率の低さ」、中学校数学での「関数」における成果が見られた。一方で、今年度の秩父市の課題として、小・中学校ともに、国語は、「言語の特徴や使い方の事項」、算数・数学は、「図形」の問題があげられる。

現在、秩父市学力向上推進委員会や各教科部会で調査結果をもとに、成果と課題を分析し、成果のある学校の取り組みをもとに、方策を検討している。検討内容を研究協力校での授業実践に反映させながら、今後、日々の授業改善に向け取り組んでいく。

2点目は、秩父市中学校部活動地域移行推進協議会についてである。

9月17日(水)に第3回、今年度第1回目の協議会を開催した。保護者・教職員・生徒へのアンケート調査結果をもとに、委員の方々より様々なご意見をいただきながら、中間報告に向け、実態と課題の整理を行っている状況である。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

6 議案審議

教 育 長 : 議案審議に関わる議題は、今回、特にない。

7 協議事項

(1) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、9件の協議をお願いする。このうち、3番4番の事業については、実施要項に学校へのチラシの頒布とあり、新規生徒の募集と思われるため、承認については不相当と考えている。次に8番の事業については、開催場所が全て県外のため、秩父地域の子どもたちには移動の負担が大きく、恩恵も薄い事業であることから、承認については不相当と考えている。それ以外の6件の後援については承認して問題ないと思われる。

3 番 委 員 : 6番の事業について、講師の方のプロフィールがなく、名前の記載もないが、講演内容に問題はないか。

教育総務課長 : 熊谷市に登録された市民活動団体のため、問題ないと考える。

教 育 長 : 他に質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、3番、4番、8番の後援については不承認、それ以外の後援については承認とすることでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いする。

(2) 10月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 10月教育委員会定例会について、10月30日(水)午後2時から歴史文化伝承館2階会議室において開催することを御提案させていただく。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、10月教育委員会定例会については、10月30日(水)午後2時から、歴史文化伝承館2階会議室にて開催する。

8 その他

2 番 委 員 : Chromebookの入替えについて、今、貸与されているものの後継機と入れ替えるということでよいか。

学校教育課長 : 埼玉県共同調達会議のChromebookのGoogle部会に参加し、最新の後継機を導入できるように調整している段階である。

2 番 委 員 : Chromebookは導入当初、故障やメンテナンスに難があっ

たりしたが、それが改善してるかどうか心配である。i P a dは故障がなく、使いやすいので検討してみてもどうか。

学校教育課長： Chromebookは今まで使ってたので、使いやすいのではないかと考えている。教員・児童・生徒に寄り添ったものとなるよう、調整していく。

学校教育課長： 1点、事務連絡を申し上げる。

ラーケーションの結果について、9月の定例会で報告することになっていたが、すべての回答の回収が済んでないため、10月の定例会で報告させていただきたい。

事務局： 1点、事務連絡を申し上げる。

1点目、10月10日午後1時30分から「秩父地区教育委員会連合会管内視察研修会」が皆野町で開催される。定例会終了後、出欠等の確認をさせていただく。

9 閉会

教育長： 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会9月定例会を閉会する。